

# エコアクション21 環境経営レポート

【 運用期間：令和2年10月1日～令和3年9月30日 】



発行：令和3年12月20日



株式会社 サンキュウ美化

## 目 次

I. 事業概要	・・・	1
II. 環境経営実施体制図	・・・	2
III. 環境経営方針	・・・	3
IV. 環境経営目標とその実績	・・・	4
V. 環境経営計画	・・・	5
VI. 環境経営目標及び経営計画の取組結果と その評価並びに次年度の目標及び計画	・・・	6
VII. 問題の是正及び予防処置	・・・	7
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	・・・	8
IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	9
X. その他の取組	・・・	10
XI. その他（緊急対応・廃棄物等処理フロー）	・・・	11～13

# I. 事業概要

## 1、事業所名及び代表者名

株式会社 サンキョウ美化  
代表取締役： 山田 雅英

## 2、所在地

静岡県静岡市葵区富厚里1891番地

## 3、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者： 取締役 山田 基晴  
担当者： 総務部 山田 基久乃  
連絡先 TEL： 054-270-1160  
FAX： 054-279-0912

## 4、事業の内容

・一般廃棄物の収集・運搬 ・専ら再生品の収集・運搬・再生  
・産業廃棄物の収集・運搬

種別	許可番号	許可期限
静岡市一般廃棄物収集運搬業	第10015号	R 2. 4. 1～R 4. 3.31
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02201166342号	H29. 5.24～R 4. 5.23

【産業廃棄物の種類】：廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず  
がれき類、汚泥、廃油、繊維くず、動植物性残渣

## 5、事業の規模(事業年度：当年10月～翌年9月) 資本金：300万円

	単位	H24年度(29期)	H28年度(34期)	H29年度(35期)	R元年度(36期)	R元年度(37期)	
売上高 (税込)	百万円	140	144	148	150	153	
処理実績	一般収集・運搬	t	2,292.01	2,098.70	2,181.84	1,961.00	1,791.89
	産廃収集・運搬	t	375.74	294.32	420.33	443.06	339.40
	専ら再生品の 収集・運搬	t	1,001.37	593.54	562.16	609.00	568.73
	有価物 収集・運搬	t	16.96	13.42	15.25	13.42	10.79
従業員数	人	14	13	14	15	15	
延床面積	m <sup>2</sup>	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	

## 5、会社履歴

昭和54年10月：設立 静岡市一般廃棄物収集運搬業認可  
平成24年5月1日：株式会社 サンキョウ美化に商号変更  
平成24年5月24日：静岡県産業廃棄物収集運搬業認可  
平成24年8月1日：静岡ダスト株式会社を吸収合併

## 6、保有設備(収集運搬の許可車両は種類別台数を明記すること)

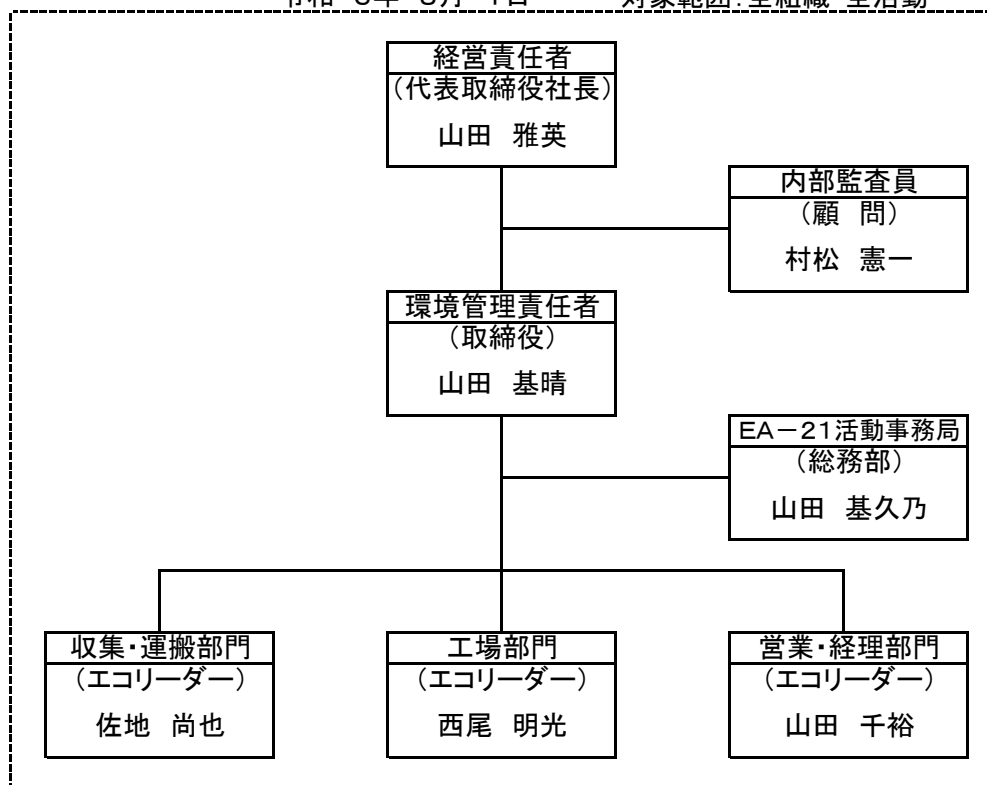
収集運搬車両：パッカー車：8台 キャブオーバー：3台  
その他車両：ダンプ：2台 コンテナ車：1台 乗用車：2台  
設備機器：圧縮機：1台 選別機：1台 フォークリフト：2台  
その他：車両系建設機械：1台

## 7、廃棄物処理料金

収集運搬料金につきましては、処理量、運搬距離により算定いたします。  
弊社担当 山田(TEL 054-270-1160)までご相談下さい。  
無料にてお見積もりいたします。

## Ⅱ. 株式会社 サンキュウ美化 環境経営実施体制図

令和 3年 8月 1日～ 対象範囲:全組織・全活動



### <環境経営実施体制における機能>

#### 経営責任者

- ①環境経営全般に対するの責任と権限
- ②環境経営方針の作成と社員への周知
- ③環境管理責任者の任命
- ④環境経営資源の準備(人材、設備、資金、)
- ⑤全体の評価と見直し・指示

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進責任者
- ②環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②環境経営目標・計画の実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書類の作成・管理

#### 各部門

- ①環境経営計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

#### 内部監査員

- ①システムの適合性、運用状況を監査

## Ⅲ. 環境経営方針

### 株式会社 サンキュウ美化 環境経営方針

#### [環境経営理念]

株式会社サンキュウ美化は、自然豊かな清流藁科川の中流域に位置し、廃棄物等の処理活動を通じて、美しい近隣の自然、さらには地球環境を守るために、地域社会に配慮した廃棄物収集・運搬及び、もっぱら再生資源の選別・圧縮処理・再生を行い、環境保全に努め、循環型社会形成に取り組む企業を目指します。

#### [基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
  - 1) 軽油、ガソリン、電気の省エネルギー活動の推進
  - 2) 自社及び収集・運搬廃棄物等のリサイクル向上に努めます
  - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守  
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します。
3. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への取組
  - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます
  - 2) 廃棄物排出事業者に対して分別排出の指導・支援に努めます。
3. 環境コミュニケーションの積極的实施  
社外においては、環境経営レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します。

社内においては、全従業員に、この環境経営方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組みを展開します。

制定 2013年10月 1日

改定 2021年 7月23日

株式会社 サンキュウ美化

代表取締役社長 山田 雅英 印

## IV. 環境経営目標とその実績①

### 37期 (2020年度)環境負荷の実績

購入電力二酸化炭素係数 中部電力0.426Kg-CO<sub>2</sub>/Kwh使用

項目	単位	37期 (2020年度)	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	128,153.9	
内訳	購入電力	kWh	9,507.0
	ガソリン	L	1,194.5
	軽油	L	47,020.5
	LPG	kg	6.6
	灯油	L	0
受託した廃棄物収集運搬量	一般廃棄物	t	1,791.89
	産業廃棄物	t	339.40
専ら再生資源	再資源化量	t	579.50
事業所排出廃棄物量	t	0.8189	
総排水量	m <sup>3</sup>	562.0	

29期: 2012.10~2013.9  
(H24.10~H25.9)

34期: 2017.10~2018.9  
(H29.10~H30.9)

37期: 2020.10~2021.9  
(R 2.10~R 3.9)

38期: 2021.10~2022.9  
(R 3.10~R 4.9)

39期: 2022.10~2023.9  
(R 4.10~R 5.9)

### 中期環境目標

項目	単位	基準年度 34期(2017年度)	35期(2018年度)	36期(2019年度)	37期(2020年度)	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	150,717.6	-1%	-2%	-2%	
内訳	購入電力	kWh	12,006.0	-1%	-2%	-2%
	ガソリン	L	3,268.8	-1%	-2%	-2%
	軽油	L	53,350.5	-1%	-2%	-2%
	LPG	kg	5.5	-1%	-2%	-2%
	灯油	L	144.0	-1%	-2%	-2%
事業所排出廃棄物量	t	0.8539	-1%	-2%	-2%	
水使用量	m <sup>3</sup>	699.0	-1%	-2%	-2%	
事務用品のグリーン購入件数	件	17件	18件	20件	20件	
排出業者に対して分別排出の指導等・支援			推進	推進	推進	

\* 廃棄物排出業者への分別等の支援活動は目標設定せず活動のみとする

### 運用期間目標とその実績

項目	単位	34期(2017年)基準	37期(2020年)目標	37期(2020年)実績	評価	
		34期 (通年)	37期 (通年)	37期 (通年)		
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	150,717.6	147,703.3	128,153.9	○	
内訳	購入電力	kWh	12,006.0	11,765.9	9,507.0	○
	ガソリン	L	3,268.8	3,203.4	1,194.5	○
	軽油	L	53,350.5	52,283.5	47,020.5	○
	LPG	kg	5.5	5.4	6.6	×
	灯油	L	144.0	141.1	0	○
事業所排出廃棄物量	t	0.8539	0.8368	0.8189	○	
水使用量	m <sup>3</sup>	699.0	685.0	562.0	○	
事務用品のグリーン購入件数	件	17件	20件	21件	○	
排出業者に対して分別排出の指導等・支援			推進	推進	○	

\* 二酸化炭素、(購入電力、ガソリン使用量、軽油使用量、灯油使用量)は目標達成

\* LPG使用量、は目標未達成

## V. 環境経営計画

主な経営計画		担当	計画内容	備考
1 二酸化炭素排出量の削減				
1-1	化石燃料使用料の削減 (軽油、ガソリン、 灯油、プロパン)	西尾	(エコドライブの周知) ・アイドリングストップ	
		西尾	・急発進、急加速、急停車の禁止	
		西尾	・車重量の軽減 不要物の積み下ろし(定期的点検)	
		西尾	・冷房の控えめ使用(車)	
		山田基晴	・収集運搬ルート of 構築及び検討	
		山田基晴	・車両整備(タイヤ空気圧)	
		山田基晴	・車燃費データの管理	
		石川	・(食器等の洗い湯)の節減	
1-2	電気使用量の削減	山田基久乃	・冷暖房の控えめな使用、制限 (冷房28℃、暖房20℃を目安)	
		石川	・不要な照明器具の消灯管理	
		石川	・不要なOA機器のOFF管理	
		山田基晴	・不要な動力機器のOFF管理	
2	廃棄物排出量の削減	山田千裕	・損紙裏面利用の徹底	
		山田千裕	・ゴミの分別の管理	
		山田千裕	・使用済み封筒の再利用	
		山田千裕	・[不要なものは、持ち込まない]の徹底	
3	水使用量の削減	佐地	・洗車方法の効率化	
		山田基久乃	・節水の呼び掛けと、表示	
4	グリーン購入の促進	山田基久乃	・事務用品のエコマーク商品 の購入促進	
5	環境教育の推進	山田雅英	・社員に対する定期的な 環境教育の実施	
6	地域の環境保全 活動への参加	山田基晴	・地域のボランティア活動等 に積極的参加	
7	排出事業者に対する分別 排出の指導等・支援	全員	・排出事業者の皆様へ (静岡市からのお知らせ) を必要に応じて配布と、説明 ・分別・減量の具体的な説明等	

## VI. 環境経営目標及び経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の目標及び計画

太字項目:運用期間実施項目、細字は次年度以降

目的	項目	活動項目	評価		今後の取組		
			評価	内容	内容		
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底	○	徹底されている	継続実施		
		②人感センサーの導入			次年度以降計画		
		③プルスイッチ化			次年度以降計画		
		④高効率照明機器の導入	△	電球を一部LED化	次年度実施予定		
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	定例会時説明	継続実施		
		②クールビズ、ウォームビズ	○	定例会時説明	継続実施		
		③フィルター定期清掃	○	月一度実施	継続実施		
		⑤遮光対策			次年度以降計画		
		⑥断熱化対策			次年度以降計画		
		⑦新規空調設備への代替え、及び導入		今期1台取り換え	次年度以降計画		
		設備・他	・停止時メイン電源OFF	○		継続実施	
	・デマンド計導入検討				次年度以降計画		
	・太陽光発電導入検討				次年度以降計画		
	・冷蔵庫の保冷対策		○	不要物撤去、メモリダウン	継続実施		
	車・トラック	①エコドライブ	○		継続実施		
		③日常・定期点検の実施	○		継続実施		
		④省エネ車の導入	○		継続実施		
		⑤排ガス対応車の導入			次年度計画反映		
		⑥ルート収集	○	収集ルート見直し	継続実施		
		湯沸	・使用時間規制	○		継続実施	
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施		
		②封筒の再利用	○	社内便活用	継続実施		
		③集約化購買			次年度計画反映		
		④FAXのPDF化			次年度計画反映		
		⑤3Rの実践	○	徹底されている	継続実施		
		⑥名刺の自社製作	○	名刺作成ソフト導入	継続実施		
		⑦廃棄物の分別とリサイクル	○	分別基準と実施	継続実施		
	産業廃棄物	①古紙カンビン、ペットボトル等の分別	○	徹底されている	継続実施		
		②排出業者への分別指導	○	分別の説明	継続実施		
		③分別ルートの新規開拓	○	新規プラスチック販売ルート	継続実施		
		④電子マニフェストの導入	△	一部導入	継続実施		
		⑤新規顧客の開拓	○	店舗開拓	継続実施		
		節水	上水	①節水表示	○	表示OK	継続実施
				②高圧ノズルの取り付け	○	取付が遅れている	継続実施
③節水こまの取り付け	△			一部実施	継続実施		
グリーン購入	事務用品			①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施
②何回も使える物購入		○	実態調査	継続実施			



## VII. 問題の是正及び予防処置

対象項目	原因	是正及び予防処置
1、LPG使用量の増加 (目標値をクリアできなかった)	事務員を、1名増加したことが、 主たる原因と考えられる。	使用量削減を徹底する。
2、地域との融合活動 (丸子川清掃に参加)	【新型コロナ禍】により、今期は (丸子川清掃)活動が2回中止になった。	今後も、より積極的に地域との 融合活動に努める。

## Ⅷ、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況：R2/9/30遵守確認実施：環境管理責任者

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	法律・条例・規制	要求事項・責務	具体的な確認内容	遵守状況
廃棄物収集運搬業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業許可の更新変更届出	期間満了日・変更事項の有無	○
		業務計画書・実績書の提出	提出期限日の確認	○
		委託契約書の締結	契約内容の確認	○
		マニフェストの運用・管理・保管	各表を適正に処理 関係伝票を5年間保管	○
		不法投棄の禁止	不法投棄を行わない	○
		破棄物の悪臭・飛散防止	適法な運搬、 業務後の洗車の徹底	○
		産業廃棄物の適正管理	県条例の遵守	○
家電リサイクル法	指定家電の収集運搬	指定家電の適正引き渡し	○	
事業者全般	環境基本法	公害防止・自然環境保全 産業廃棄物の適正処理 再資源等の利用 公共団体の施策に協力	エコアクション21への積極的取り組み	○
	循環型社会形成推進基本法	廃棄物の排出抑制 循環的利用 適正処分 公共団体の施策に協力	4Rの努力	○
	地球温暖化対策基本法	温室効果ガス発生抑制 公共団体の施策に協力	エコアクション21への積極的取り組み	○
	グリーン購入法	環境物品の購入	環境物品の積極的選択購入	○
	消防法	火災の予防	車両・事務所の火災予防	○
	浄化槽法	浄化槽の定期点検の実施	報告書の管理	○
	道路交通法	法遵守	速度違反・過積載の禁止	○
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありませんでした。

## Ⅷ、代表者による全体の評価と見直し・指示

令和3年12月20日 代表取締役 山田 雅英

「令和2年 37期 運用期間中の目標・活動計画の達成状況・取組状況」の評価を、令和3年11月13日社内の第99回社員勉強会（社員に対する定期的な環境教育）において実施しました。

総合的な評価結果の内容としては、二酸化炭素削減量（購入電力・ガソリン・軽油・灯油・井戸水使用量等）、は目標を達成し、グリーン購入も目標の20件を超え21件と目標を達成しました。

しかし残念ながら、LPG使用量は目標を達成できませんでした。

LPG使用量につきましては業務の効率化を図り、経営に関して事務を強化するため採用した事務員1名の増員が原因の一つと考えられます。

今後は、より削減の指導等を怠らないよう考えております。

削減効果向上は、毎月の勉強会や、気軽に話し合える会社の雰囲気もあり、様子を見たいと考えております。

更には、「エコアクション21」の取り組みは、社員皆で話し合う機会が増加し、作業の仕方、回収ルート

の検討、顧客情報交換など、各方面において勉強がなされ、環境と向き合う意識など増してきております。社員の入れ替わりもありますが、その都度、「エコアクション21」の取り組みについて、話し合いを実施して

おります。

引き続き、【新型コロナ禍】の影響で、業務量も減少し事業計画推進にあたっては厳しい状況でした。

社員の健康管理にもより以上留意して、「エコアクション21」の取り組みを推進してまいります。補助金を活用して、クラウド型運行管理機能付ドライブレコーダーを10台導入し、換気改善に網戸の取り換え等を実施し、社員の安全又、意識向上に務めてまいります。

## X.地域との融合活動

①

### 公共排水路(側溝)清掃



令和3年9月25日、当社敷地山側の【公共排水路(側溝)】の清掃を社員で実施しました。

排出量は、土嚢袋で30袋、処分は 市河川課にお願いしました。

丸子川清掃活動について、  
コロナ禍により、秋、春の2回とも中止になり、参加できませんでした。

## 環境上の緊急対策

### 〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	廃プラスチック置場からの発火	自然発火や 放火が考えられる	・置場の整理・整頓 ・消火器の設置
パターン 2	プレスキー(圧縮・梱包機)より 作動油の漏えい	機械部品故障 による破損	・吸着マットの設置 ・土嚢の設置

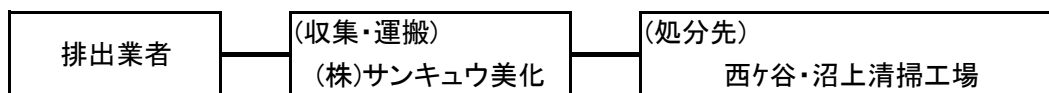
### 訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R 3. 9. 25	廃プラスチックの火災	自然発火	・整理・整頓の確認 ・消火器を目立つようにする
※評価と改善策 廃棄物周辺は日常的に整理・清掃は心がけていたが、思わぬ悪天候により、廃棄物が、飛散していた。周辺に火の元が無いことは確認したが、想定外の引火も考えられるため、迅速に片付けた。土地柄か、強風が頻繁にある為、日常の業務内でも迅速に対処できるよう社員に呼びかけた。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R 3. 9. 25	作業中の大地震	東日本大地震の影響を受けての緊急訓練	・緊急時の分担を決める ・災害ごとに避難行動を明確にする
※評価と改善策 2011年の東日本大震災の影響で、今まで体験した事のない様な揺れをこの地域でも受け、動揺しました。この地域でも長年大地震が発生すると騒がれており、起こりうる災害を可能な限り想定し、実際に行動できるような訓練と役割分担を明確にしました。習慣にしていきます。(既に行われていたが、改めて！)			

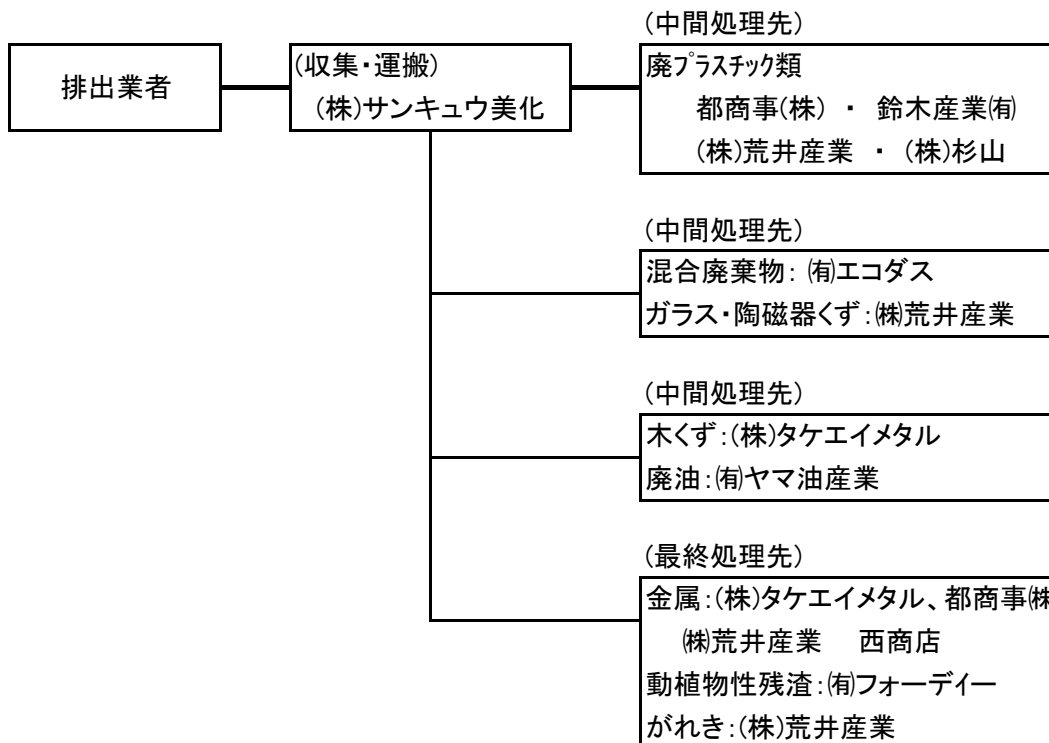


# 廃棄物等処理フロー

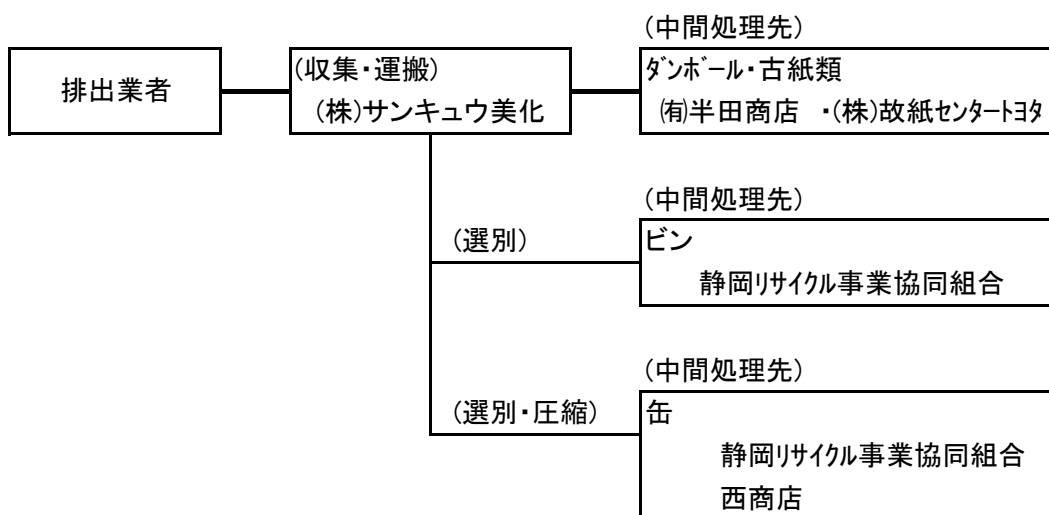
## ①一般廃棄物



## ②産業廃棄物



## ③専ら再生物



## ④有価物

